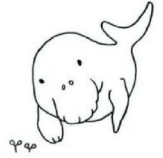


CONTENTS



- 2 防衛局の環境アセスメントを提訴
- 3 第7回環境アセス審査会に参加して
- 4/5 三重あけぼの学園高校訪問
- イルカコンサート報告
- じゅごんの里ツアー報告会
- 6/7 サンの島コンサートの取組み
- 沖縄BD市民ネットの取組み

衆院選がやっと終わった。同志の服部良一が社民党から比例で当選した。嬉しかった。これからは山内徳信、照屋寛徳と力を合わせ、沖縄のジュゴン保護と基地問題解決に取り組んでくれると期待している。

民主党が圧勝したことで、世の中が少し浮かれている。中には小泉チルドレンが小沢ガールズにシフトしただけじゃないのか？と穿った見方をする人もいる。だがそうではない。心の中がまるで違う。確かに半数近くが素人だから、この国の運営を委せるには不安もあろう。しかしどんなに逆立ちして見ても、これまでの自公の悪政より、遥かに透明でまじめでまじだと言える。少なくとも米軍産複合体のブッシュ親分に盲従してきた臆病な自公の暴走には、ようやく歯止めを掛ける事が出来た。

サンの島を守れ

SDCC 共同代表 海勢頭 豊

問題なのは、日米合意を盾にした米軍再編の行方である。果たして米国に辺野古への新基地建设を断念させることが出来るのか？鳩山政権にはその力量が問われることになる。米国はすでに圧力を掛けているが、沖縄で嫌われたメアーが日本部長になり、死の商人の営業マンよろしく恫喝を繰り返しているから、笑ってしまう。

軍産複合体の利益を優先するだけの彼らには、やはり地球上の自然や生命の多様性を守る意識も、人類の未来を守る意識も無いと言う事であろう。もしそうだとしたら、核廃絶を目指すオバマの理想は、大変な自爆装置を抱えたままで、米国の運営を強いられている事になる。そんな中で来年10月には名古屋で生物多様性条約国会議が開かれる。日本が議長国としてリーダーシップを発揮する年になる。SDCCも来年をジュゴン保護年とし、ジュゴン保護区の設定を世界に訴えなければならない。私はそのことの重要性を、先ず10月16日のサンの島コンサートで伝える事から始めたいと考えたが、実に多くの賛同を頂き、感謝にたえません。

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



平和の樹のハンカチにメッセージを描いた女の子



ピアノとベースの素敵な音楽に合わせて街頭で舞うじゅごんちゃん



衆議院選 新基地建設に大きな打撃



「基地ではなくジュゴン保護区」を実現しましょう

衆議院選挙 沖縄全区で野党が勝利

衆議院選挙(8月30日開票)で民主党が圧勝しました。沖縄でも1区から4区すべてで野党が勝利しました。民主党など野党は辺野古・大浦湾への新基地建設に反対しています。沖縄選出議員は沖縄防衛局の環境アセスメントに予算支出を認めないと明言しています。今回の選挙結果は辺野古・大浦湾への新基地建設を進める米国や防衛省に大きな打撃となり、ジュゴン保護区設置にむけて大きな一歩になりました。

「基地建設はジュゴンに悪影響」(粕谷俊雄さん)

沖縄県環境影響審査会は沖縄防衛局の準備書を審査しています。8月26日に開かれた第7回審査会ではジュゴン研究者・粕谷俊雄さんが「基地建設はジュゴンに悪影響を及ぼす」と明言しました。8月末には、県審査会は2回にわたって辺野古・大浦湾のサンゴや海草の現地調査を行いました。審査会の審査は9月中旬には終えて県知事に答申して、10月13日までに県知事は沖縄防衛局に意見を出すことになっています。政権交代はこの動きにも大きな影響を与えるに違いありません。(詳細は3面「アセス審査会に参加して」を参照)



琉球朝日放送 HP より

環境アセスのやりなおしを アセス訴訟はじまる

8月19日、344人(第1次原告・SDCC 参加)が、沖縄防衛局の環境アセスメントのやり直しを求めて那覇地裁に提訴しました。環境省の調査報告書を改ざんし(16-9消えたジュゴン)、基地建設の実施計画案すら明らかにしない秘密主義(ジュゴン訴訟から明らかになった)など、環境影響評価法すら守っていない防衛省への批判です。

署名 3万1千筆を提出

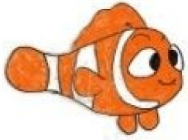
国際自然保護連合(IUCN)世界会議の決議では、国際水準の環境アセスメント、建設しないことを含むゼロオプションでのアセスメント実施を日本政府に求めています。先の通常国会にはIUCN決議の履行を求める国会請願署名3万1千筆を、衆参両院の野党の環境委員や沖縄選出議員を通じて提出しました。2010年国際ジュゴン年にむけてIUCN決議、「基地ではなくジュゴン保護区」の実現にむけて一回り大きなキャンペーンを広げましょう。



キャンシュワブ前サイレントキャンドル行動

僕をまもって
くださいね!





新署名

ジュゴンを種の保存法希少種に指定を

2010年10月名古屋で開催される生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)にむけて政府やNGOは1年前イベントの準備を進めています。私たちは政権交代を実現した今こそ、2008年IUCN決議をふまえて「基地ではなく保護区」を現実のものとするための新たな署名を始めます。



署名の柱は2つ。ひとつは、沖縄ジュゴンをただちに種の保存法の国内希少野生動物種に選定すること。もう一つは、日本政府が「移動性野生動物の保全に関する条約」(ボン条約)による「ジュゴン生息域すべてにおけるジュゴンの保護と管理のための覚え書き」に参加することです。



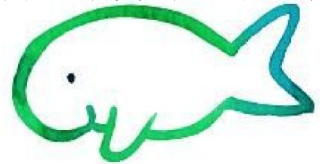
すでに、小泉内閣のときに「沖縄のジュゴンの保護に関する質問主意書」(岩佐恵美参議院議員)への答弁書(2004年7月13日第33号)で、沖縄ジュゴンは種の保存法の国内希少野生動物種に選定される種に該当することを認めています。これは閣議で決定しています。しかし、環境省は「関係者の理解を得る必要がある」と5年経った今も実行していません。政権交代をふまえて日本政府は、来年10月に開かれるCOP10議長国としてただちに実行すべきです。



また、毎年開催されているジュゴン保護覚え書きの国際会議に参加して、ジュゴン保護の情報交換や経験交流を深めることで、絶滅の危機にあるジュゴンの保護と増殖を図るべきです。このことは沖縄の地域振興に必ず結実するに違いありません。(参考パンフ:「2010年国際ジュゴン年—基地ではなく保護区を」)

沖縄から

アセス審査会に参加して



去った8月26日、普天間代替施設建設「準備書」に関わる第7回目の沖縄県環境アセス審査会が開かれ、海洋ほ乳類の専門家、粕谷俊雄氏の意見聴取が行われました。

粕谷氏は「準備書」の問題点を多岐に渡って指摘し、「建設によるジュゴンへの影響は少ない」とした「準備書」の見解に対し、「建設は沖縄のジュゴンの個体群全体に影響がある」と断言しました。SDCCのメンバーを含め、多くの市民・住民によりこれまで指摘されてきた「準備書」の問題点が、専門家の立場からも浮き彫りされたのです。

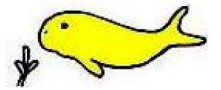
特に注目されることとして、これまで辺野古沖で発見されていたジュゴンが、なぜ防衛局の調査では発見されなかったかの理由を考察する必要があるとし、可能性のある理由として、漁業や船舶往來の他に、「軍事演習」や「基地建設に関わる活動」について言及したこと。建設により海草藻場が消失することで、「沖縄のジュゴンの生息環境が永久的に劣化」し、「個体数が回復すること妨げる」と明言したこと、等があげられます。

ただ審査会においては、専門家と防衛局による直接の質疑応答はなく、粕谷氏の意見に対する防衛局の見解は分かりません。また招致されていたもう一人の専門家が欠席し、文書としての意見の提出もなく、その専門家の意見がどのようなものかも不明です。

いずれにせよ、ジュゴン保護の視点を強調した粕谷氏の意見は、私たちにとっては心強いものです。粕谷氏の意見は勿論のこと、多くの市民・住民が提出した意見が、沖縄知事意見にしっかりと反映されるように、世論を高めていきましょう。

(吉川秀樹)

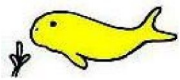
全交大会で2010年国際ジュゴン年キャンペーンを決議!



8月1日(土)～2日(日)、横浜市鶴見会館で開催された、平和と民主主義をめざす全国交歓会(全交)にSDCCとして参加しました。今年の全交のテーマは、「未来をつくるのは私たち!大量首切りNO!戦争と貧困のない社会をつくろう!」です。SDCCは、16のある分野別討議のひとつ、「ジュゴンの保護を 沖縄新基地建設反対～2010年生物多様性年にむけて～」を担いました。スタッフ、会員、初参加の方など30名の参加で活発な議論が交わされました。

海勢頭代表の開会挨拶のあと、蜷川事務局長より基調報告が行なわれ、特にこの秋以降2010年生物多様性年にむけた情勢・方針が提起されました。

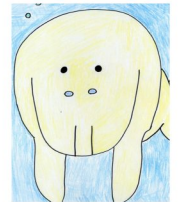
WWFジャパンの花輪伸一さんからは、生物多様性に関するプレゼンテーションがありました。生物多様性が壊されるということは、動植物の減少・絶滅、農林漁業の衰退のみならず、人間社会の崩壊につながるという説明が非常に印象的でした。



生物多様性についてプレゼンする WWFJ 花輪伸一さん

閉会集会では、二日間のまとめとして各分野別討議などの決議が報告され、質疑応答の後採択されました。ジュゴン保護に関する決議は、「2008年IUCN決議を受けて、2010年国際ジュゴン年キャンペーンを強化する」とし、

1. 2010国際ジュゴン年プレコンサート(10/16名古屋)を成功させる。
2. 沖縄県環境影響審査会への働きかけを強化し、準備書への知事意見に圧力をかける。
3. 国会と結んだキャンペーン行動で、沖縄防衛局の準備書を撤回させる。 です。(三村昭彦)



報告

着ぐるみジュゴンが初登場!

5周年のイルカ With フレンズコンサート

7月19日(日)、今年で5周年のイルカさんが親善大使を務める IUCN 国際自然保護連合を知っていただく為に始めたコンサートに、ジュゴン着ぐるみの初デビューとレザージュゴンも一緒に参加してきました。会場はおなじみの河口湖ステラシアター。

各席正面に富士山を見ながらのコンサートです。毎年出演の江原啓之さんに、今回のゲストは「なごみーず」というユニットで、太田裕美さん(木綿のハンカチーフ)、伊勢正三さん(元風:22才の別れ)、大野真澄さん(元ガロ:学生街の喫茶店)が懐かしい名曲をひっさげて登場。青春時代を思い出し、感激し、涙している人もいました。



今年イルカさんは、富士河口湖町の「町うた」を作曲し、ご子息の神部冬馬さんもサッカーJリーグ「ヴァンフォーレ甲府」の公認応援歌を作词・作曲され、それぞれ披露してくれました。コンサートのアンコールは皆さんご存知の「まあいいのち」、フィナーレには夜空に花火が打ち上げられました。

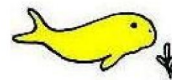
来年の秋、名古屋で開かれる「生物多様性条約会議」(COP10)の開催期間中に IUCN コンサートを行う事がイルカさんから発表されました。今年の秋から名古屋は熱くなりますよ。2010年国際ジュゴン年に向けて、みんなでがんばりましょう!! (矢敷克子)

じゅごんの里ツアー報告会



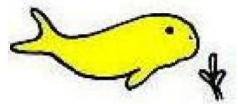
7月26日、大阪の玉造にある自由空間「コラボ玉造」で7月3日～5日に開催したじゅごんの里ツアーの報告会をしました。報告会ではたくさん取り貯めた動画や写真を使って説明をしたので、どんな感じの雰囲気だったかなどわかりやすいとお褒めをいただきました。(*^_^*)
また報告会とは別に UAE のアブダビで撮影された野生のジュゴンの映像を流しましたが、野生のジュゴンがなかなか見ることができない日本では貴重な映像として披露できたと思います

最後に今年ツアー初参加の人達にも感想を述べてもらいましたが、ツアーに参加してよかったという意見をもらい、来年も機会があれば是非参加したいと話してくれたのがとてもうれしかったです！来年に向けてますますがんばらなくっちゃ！ただひとつ、場所が駅から遠く道しるべがもっと必要であったと反省するべき点もありました。
・・・上田千鶴



報告

☆あけぼの高校に講演に行ってきました！



三重県あけぼの高校で人権・平和学習に取り組む先生とのご縁で、今年の12月の修学旅行が沖縄！その事前学習にとSDCCへ講演依頼がありました。沖縄は多くのことを学べる。そのチャンスを活かしてほしい！とはりきって関西スタッフ4名で行ってきました！「珊瑚礁の海、やんばるの森、豊かな自然」「今なお基地の島であるという現実」「絶滅の危機に瀕しているジュゴンのこと」「基地ではなく、保護区をとという活動」伝えたいことはいっぱい。どんなふう伝えようか。

世間では問題児とレッテルを貼られてしまう引きこもりや多動症の生徒を受け入れている高校で、携帯をしていたり、居眠りしていたり、うろろしていたり、今時の高校生なのかなって思ったりもしましたが、私はなんだか好感が持てたのです。ピアスをしてたって、茶髪だって、折り紙ジュゴンをかわいいーと喜んでくれ、さっそく折ってくれたり。街頭行動している時に、無関心で無表情で通り過ぎる人たちよりも、親しみがもてて、明るく元気。

人形劇や動画などを使い精一杯お話ししました。真剣にお話を聞いてくれた子たちもいたけれど、お話はどうだったかな？伝えるって面白くて難しい。何をどう伝えるか、伝わるものが自分の中に備わっているか、パワーが要るな。そんなパワーを蓄え続けよう！講演後しばらくして、先生が生徒たちの感想を送って下さった。嬉しい感想がいっぱいだった。深いところで感じてくれた子たちもいたよ。いっぱい遊んで、そして学んで一人一人にとって思いで深い旅となりますように。（池側恵美子）



真剣に聞いていただきました。
ありがとうございます。



プレ国際ジュゴン年の サンの島コンサートの取組み

<名古屋でも賛同の広がり> 蛭川義章

8月13日から16日まで名古屋市公会堂で「あいち平和のための戦争展」が開かれました。10月16日の海勢頭豊・サンの島コンサートの協力を求めて、「命どう宝」や「NO BASE 辺野古・名古屋」のメンバーに会うために8月15、16日と戦争展の会場を訪れました。会場では過去の悲慘な戦争の実態とともに、イラク戦争と反戦闘争のパネルなどが各ブースで展示されていました。沖縄の新基地建設計画とジュゴン保護のブースがその中にあり、海勢頭コンサートのチラシを拡大したポスターも展示されていました。そのブースのまん中には、辺野古の座り込みのビデオを鑑賞するコーナーと、サーターアンダーギーやサンピン茶を置いた休息所が設けられていました。

その休息所で、命どう宝、NO BASE 辺野古・名古屋、憲法9条の会のメンバーなど10名と打ち合わせをしました。自己紹介からはじまり、私から海勢頭コンサートの目的、IUCN決議の内容、生物多様性条約市民ネットワークや沖縄生物多様性市民ネットについてちゃんぷるニュースや「2010年国際ジュゴン年」パンフレット、写真などを使って説明しました。「コンサートチラシに『基地ではなく保護区を』と書いてあるから協力する」と出席者から第一声。辺野古の座り込み年に2回は参加し、駅前での宣伝行動を月2回は取り組んでいるとの報告がありました。沖縄県人会の取り組みや、環境運動と日本政府との関係について率直な疑問も出されました。1時間の議論をふまえて、沖縄のジュゴン保護と基地を作らせないために皆でコンサートを成功させることで一致しました。100枚のチケットを5枚ずつ封筒に入れて、出席者が持ち帰り広げることになりました。

海勢頭豊・サンの島コンサート

10月16日(金) 午後6時30分開演、9時終演

名古屋市西文化小劇場(地下鉄浄心駅下車4番出口南 徒歩3分)

大人・前売り2500円(当日3000円)、子ども・障がい者1300円(当日1500円)

申込みは090-8524-6372まで



沖縄・生物多様性市民ネットワーク結成!

<沖縄・生物多様性



この度、COP10に向けて沖縄の生物多様性のために取り組む「沖縄・生物多様性市民ネットワーク(沖縄BD)」が結成され、7/25の結成大会では、約150人の参加者が集まりました。沖縄BDは、「環境、人権、平和」を柱として、生物多様性や生物多様性条約についてともに学び、その取り組みを発信して共有することを目指して活動しています。

今、取り組んでいるのは、SDCCではおなじみの大浦湾のアオサゴ群集の天然記念物 ↗

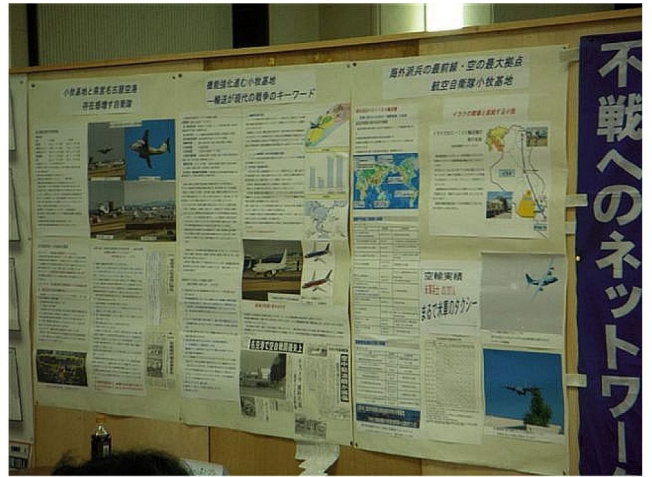
取り組み

名古屋の会員さんからコンサートに協力したいと電話が入り、チラシやチケットを送っています。チラシを見たところチケットを2枚、3枚との注文も出てきています。沖縄料理店35件にチラシとお願いの文書を送りました。皆さんのご協力をよろしくお願いします。



<コンサート翌日に学習交流会>

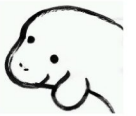
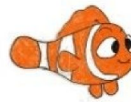
また、名古屋での打ち合わせなどをふまえて、コンサート翌日の10月17日午前10時から学習交流会を名古屋市教育館で開くことになりました。主催はジュゴン保護キャンペーンセンター、NO BASE 辺野古・名古屋、沖縄生物多様性市民ネットワーク。



「国連国際生物多様性年とCOP10（第10回締約国会議）の意義」について、生物多様性条約市民ネットワークの原野好正さんから、沖縄生物多様性市民ネットワークの取組みと、参加団体からの取組み報告と質疑など。2時間の学習と交流で、来年2010年10月のCOP10に向けて交流を深めあうスタート集会にしたいと思っています。皆さんのご参加をお願いします。

日時：10月17日（土） 10:00～12:00

場所：名古屋市教育館（地下鉄栄駅3番出口すぐ西側）



市民ネットワーク結成！ > 沖縄・生物多様性市民ネットワーク事務局 河村雅美



▽指定の申請です（写真はそのため勉強会の様子）。もちろん、ジュゴン保護もSDCCと共に取り組んで行く予定です。一年前のプレCOP10イベントでは、来沖中のタイのジュゴン学者、カンジャナさんを交えて、タイ、沖縄、オーストラリアのジュゴンの絵本の読み比べを計画しています。

SDCCは団体会員ですが、個人会員（会費一口2000円、学生1000円）も募集しています。私たちと共に学び、COP10までいっしょに取り組んでいきませんか？入会申し込みはこちらまで。



Citizens' Network for Biological Diversity in Okinawa

〒901-2213 沖縄県宜野湾市志真志 4-24-7 セミナーハウス 304 号室

NPO 法人「奥間川流域保護基金」事務所内

沖縄・生物多様性市民ネットワーク

TEL/FAX 098-897-0090 吉川携帯 090-2516-7969 e-mail:okinawabd@gmail.com

HP からも申し込みできます。 <https://sites.google.com/a/libre-okinawa.com/bd-okinawa/>

